

H29年度 長野市障害ふくしネット(協議会)情報

Vol.9

発行日：2017年12月5日

研修報告



～11月21日(火) 相談支援専門員等スキルアップ研修 就労支援コース①(第2回企業懇談会)～



11月21日(火)、長野市役所第2庁舎10階講堂にて長野市相談支援専門員等スキルアップ研修の就労支援コースを開催しました。この研修は1日を通してスキルアップ研修としていますが、午後からは「しごと部会」との共催の第2回企業懇談会として開催し、1日を通して、企業・教育機関・福祉関係者・行政を含め114名の参加がありました。研修ではハローワークの担当者から各種助成金などの制度の説明や、障害者就業・生活支援センターからはセンターの活用方法などの話がありました。またキヤノン(株)に勤務されている竹之内雅典さんからの午前・午後にはわたつての講義や、実際に障害のある人を雇用している企業の取り組み事例を聞き、参加者からは「障害者に対して企業側から見た話を伺う機会はありませんでしたのでとても参考になった」「企業にとって必要な人材が分かった反面厳しさも感じた」という声が聞かれました。その後行われたグループディスカッションでは直に企業の方とも意見交換ができ、少子高齢化が加速し働き手が少なくなっている現状がある中、企業の方からもぜひとも障害者雇用を考えていきたいという声もありました。来年度以降もぜひ開催してほしいという声も多くいただきました。企業と福祉の連携の場として定着していくことにつながっていければと思います。

11月21日(火)、長野市役所第2庁舎10階講堂にて長野市相談支援専門員等スキルアップ研修の就労支援コースを開催しました。この研修は1日を通してスキルアップ研修としていますが、午後からは「しごと部会」との共催の第2回企業懇談会として開催し、1日を通して、企業・教育機関・福祉関係者・行政を含め114名の参加がありました。研修ではハローワークの担当者から各種助成金などの制度の説明や、障害者就業・生活支援センターからはセンターの活用方法などの話がありました。またキヤノン(株)に勤務されている竹之内雅典さんからの午前・午後にはわたつての講義や、実際に障害のある人を雇用している企業の取り組み事例を聞き、参加者からは「障害者に対して企業側から見た話を伺う機会はありませんでしたのでとても参考になった」「企業にとって必要な人材が分かった反面厳しさも感じた」という声が聞かれました。その後行われたグループディスカッションでは直に企業の方とも意見交換ができ、少子高齢化が加速し働き手が少なくなっている現状がある中、企業の方からもぜひとも障害者雇用を考えていきたいという声もありました。来年度以降もぜひ開催してほしいという声も多くいただきました。企業と福祉の連携の場として定着していくことにつながっていければと思います。



～12月1日(金) 相談支援専門員等スキルアップ研修 サービス管理責任者と相談支援専門員の関わりや役割を考えるコース～

相談支援専門員スキルアップ研修「サービス管理責任者と相談支援専門員の役割を考えるコース」が12/1大豆島公民館にて開かれ、サビ管・相談支援専門員・支援員など、午前51名、午後22名が参加しました。講師として大塚晃氏(上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授)をお招きしました。午前は「支援の原点を学ぶ～他職種との連携」というテーマで講義をし、ご本人の捉え方や連携のあり方、最近の国の動向など教えていただきました。また事例検討の大切さも教わり、それを基に、



午後は「ライフステージごとのサービス提供事業所と相談支援の役割や関わり方を考えよう」というテーマで架空事例を使ったグループワークを行いました。いろんな立場の人たちと、どんな対応が出来るのか検討してもらい、参加者からは、「いろんな視点・考えがあることに気付けた」といった声が聞かれました。また大塚先生からは、関わり方や解決策だけではなく、その人の背景におけるポイント・本質を見極め、本人のエンパワメントできる場所をさがしてから、各々支援の役割を組み立てていく、という支援の原点を、改めて講評で教えていただきました。



～12月3日(日) 障害者週間推進事業/障害理解特別企画第2弾 地域で暮らす2017! 「心のバリアフリーって?」～

12月3日～9日の障害者週間(障害や障害者への関心と理解を深め、障害者の社会参加への意欲を高めるための啓発活動を行う)に合わせ、長野市障害ふくしネットでは12月3日(日) 14:00～長野市生涯学習センター(トイゴ)にて車椅子ダンサーの奈佐誠司さんを講師に障害理解特別企画第2弾 地域で暮らす2017! 「心のバリアフリーって?」を開催し、50名ほどの参加者がありました。

きらびやかな車椅子ダンスの映像やご本人の明るい人柄に圧倒されながらも、ご自身がプロのバイクレイサーを目指していたが事故により一瞬にして夢が閉ざされたこと、体が思うように動かないことに泣き叫んだが体の状態は変わらず死ぬことばかり考えていたことといった今日に至るまでの壮絶な体験の数々と葛藤を語っていただけました。またご自身の努力と様々な人の支えもあり、ようやく希望が見えたのかかわらず待ち構えていた社会のバリアの現実についても大阪のノリとツッコミの豊かな語り口で会場の皆さんと考え合える講演会でした。



奈佐さんは大好きなダンスをとおして、人のことを思いやり気づき合える「あたり前の世の中」にしていきたいという思いを胸に、これからも夢を追い続けたいとおっしゃっていました。現在の夢は「2020年の東京オリンピック・パラリンピックに、女優の杉本彩さんと共演のダンスで皆さんにお目にかかりたい」ということでこれからも輝き続ける奈佐さんをみんなで応援したいと思います。



部会・委員会など	11月報告・今後の予定	次回(12月)開催のご案内
こども部会	<p>【開催日：11月24日(金) 市職員会館にて】</p> <p>*障害児福祉計画について…市の部会担当者より、計画について説明があり、グループに分かれて検討をおこなう⇒部会以降で気づいたことあれば、市担当者へメールをする。</p>	<p>開催予定日 12月14日(木)16:00～ 市職員会館にて ※参加対象…どなたでもOK</p>
しごと部会	<p>【開催日：11月21日(火) 市役所にて開催した第2回企業懇談会に参加】</p> <p>*1面の研修報告を参照してください。</p>	<p>開催予定日 12月5日(火)9:15～ 長野市役所集合 「施設見学会」 ※事前申し込み必要</p>
かつどう部会	<p>【※11月の開催はありませんでした。】</p>	<p>開催予定日 12月12日(火)16:00～ 絆の会法人本部にて ※参加対象…どなたでもOK</p>
くらし部会	<p>【開催日：11月30日(木)「グループホーム(GH)世話人連絡会」ふれあい福祉センターにて】</p> <p>学習会：テーマ「地域で暮らすとは」社会福祉法人森と木 総括センター長 岸田隆氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉の変遷(コロニー 施設解体 我が国のGHの始まり)/・GH設置、運営マニュアル(GHは親なき後対策ではない)/・これからのGHはどうあるべきか *テーマ別に6名ほどのグループに分かれ、情報共有 ①世話人の相談支援体制…世話人が困った時誰に相談しているか?相談できる体制ができていますか/②日常気を付けている事…GHの支援でどんなことに心がけているか/③何か起こった時の対応…利用者が通所に行かない時、パニックになった時等、通常と違うことが起きた時の判断や対応。 *グループワークの発表…困ったことは先輩の世話人に聞いている/他のGHの体制がわかってよかった/何か起こった時も自分一人で抱えないことが大事だと思った *感想…講演会はもう少しきけてもよかった/これからのGHの在り方について考えることが出来た/グループワークはもう少し話をしたかった/他の事業所の体制も取り入れてやっていきたい/一人職場や知識不足で困っている様子があった、話し合える場が必要/年に数回やってほしい/また頑張るって仕事が出来そう 	<p>開催予定日 12月21日(木)14:00～ ハーモニー桃の郷にて ※参加対象…どなたでもOK</p>
けんり部会	<p>【開催日：11月27日(月) ハーモニー桃の郷にて】</p> <p>「精神障害者への差別について」ポプラの会 穂苅由香里さんより話をしてもらおう。</p> <p>聞いてそれについての話し合いをしました。</p> <p>差別偏見について具体的な例を挙げて、医療費制度、交通割引、医療現場においても障害間で差別があることや、国策として進められた「隔離収容」の件等精神障害者に必要な配慮について参加者で話をする。</p>	<p>開催予定日 1月22日(月)15:00～ ハーモニー桃の郷にて 「ユニバーサルデザインについて」 ※参加対象…どなたでもOK</p>
当事者部会	<p>【昼の部…開催日：11月28日(火) 障害者福祉センターにて】</p> <p>【夜の部…開催日：11月13日(月) ふれあい福祉センターにて】</p> <ul style="list-style-type: none"> *フェスタ振り返り ・障害者だけの楽しみになってしまうのではなく、より一般の方への障害理解を意識した企画を。 ・一日一緒にやってみることで障害理解・啓発になる。企画をする場合にも、広く市民にそのような機会(きっかけ)を作ってほしい。 ・「ジリキ」を体験してみた当事者の方から、乗ってみると不安なく避難時に適していると感じるが、(緊急時活用のための普及も考え)市からまず体験できる機会を考えてもらいたい。 *選挙の振り返り ・期日前選挙について各々の投票所(各支所)にマニュアルを徹底してほしい。 また、庁舎での期日前選挙では、とくにスペースの狭さや圧迫感を感じてしまった。 *1月の昼夜合同交流会について ・協議会の機能のもと一部形を見直す提案については、執行部で再検討の予定。 *ほっこり土産コーナー ・地域の店先で自然にドアを開けてくれたり、駆け寄って手伝ってくれた小学生に「ありがとう」。 	<p>【昼の部】 12月19日(火)13:30～ 障害者福祉センターにて</p> <hr/> <p>【夜の部】 12月11日(月)18:30～ ふれあい福祉センターにて</p>
ケアマネ連絡会	<p>【開催日:11月1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)】</p> <ul style="list-style-type: none"> *事例の検討 *各専門部会と委員会の報告 *各専門員からの活動報告 *来年度以降の相談支援体制について(緊急時の相談体制について) *運営部会に向けて *施策フォーラムに向けて *障害福祉計画/障害児福祉計画について *相談支援専門員等スキルアップ研修のコース及び内容について 	<p>開催予定日 12月6日(水)・13日(水) 20日(水)・27日(水) ハーモニー桃の郷にて</p>
ケアプランナー・指定相談支援事業所連絡会	<p>【開催日:11月6日(木) ハーモニー桃の郷にて】</p> <p>*障害福祉課より…地区によっては調査員が更新会議に同席していたが今後はCWで対応していきたい。</p> <p>「障害サービスから介護保険への移行」について</p> <p>障害福祉課/中部包括支援センター/ながでんハートネット居宅介護事業所/えにし長野事業所より具体的な事例を交えて介護保険についての説明(包括支援センターと在宅介護支援センターとは/利用までの流れ/障害福祉サービスと介護保険サービスの違い/利用移行時の課題/サービスの種類など)がある。</p> <p>【グループワークより】</p> <p>障害の特性を踏まえて理解を促す必要がある/介護保険ならではの専門用語も多いと感じた/介護と障害で組み立て方が違うためどうケアマネに伝えるか/地域で勉強会があるとよい/地域でつながっていることで空き情報わかるのでは…といった意見が出る。</p>	<p>開催予定日 12月1日(金)10:00～ 大豆島公民館にて 「相談支援専門員等スキルアップ研修」参加</p>
施策フォーラム	<p>【※11月の開催はありませんでした。】</p>	<p>開催予定日 12月21日(木)9:30～ ふれあい福祉センターにて</p>

部会・委員会など	11月報告・今後の予定	次回(12月)開催のご案内
<p>共に暮らす まちづくり 研究会</p>	<p>【タウンミーティング：11月2日(木) トイゴにて開催】 *講演「障害者差別解消から一年 ～社会は変わることができたのか～」と題して、毎日新聞社論説委員の野沢和弘さんにお話をさせていただきました。⇒様々な分野の方においでいただきました。</p>	<p>開催予定日 12月6日(水) 18:00～ 市役所第1庁舎4階 141会議室にて ※参加対象：研究会メンバー</p>
<p>地域でいこう 委員会</p>	<p>【開催日：11月16日(木) 長野市保健所にて開催】 *地域移行専門員より…病院からの新規ケースについての報告。地域によっては資源が少なく指定一般相談支援事業所も地域移行について消極的なところもある。 *障害福祉課より「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について」の講義(意見交換)協議会の設置が必要になるというがいったい何を協議するのか/仮にふくしネットを協議会に充てるのであれば位置づけや体制を考える必要がある⇒医ケアでも同じような課題があるがふくしネットとは成り立ちが違うのではといった意見も出る。 ⇒市として…国や厚労省より様々な施策が示されているが、協議会の設置も含めてもう少し実情を把握したうえで対応を考えていきたいとのこと。</p>	<p>開催予定日 12月15日(金) 10:00～ 長野市役所第2庁舎 7階 会議室271にて</p>
<p>医療的ケア 支援委員会</p>	<p>【開催日：11月13日(月) 稲荷山医療福祉センターにて】 *稲荷山医療福祉センターの視察…施設内の見学・説明 *外来診療・医療型障害児入所施設・医療型児童発達支援センター・生活介護・障害児短期入所事業を実施。 【生活介護】定員15名 医ケアが必要な方の利用増に伴い看護師の配置増。 【医療型児童発達支援センター】県内に1か所のみ。学校に通いながら体調確認や学校でできない医ケアや給食対応、療育や長期休みに過ごせる場を提供。小さいころから見ていないと対応も難しいため小学校以降からのセンターの利用は難しい。 【短期入所】1日平均2名の利用。希望者は多いが病棟の状況によりキャンセルをお願いする場面もある。ケアが多様化してきている。 【リハビリ】新患のオーダーに追いつかない。小児リハに対応できる場が少ない。 【外来】身体基礎疾患のない発達障害の対応も増えてきている。 【Drより】訪問リハや訪問看護に繋がっている人が、センター利用している人たちに聞き取りをしたが少ないと感じる。親が知らないということもあるのか、どこから・誰が中心となって情報提供をしていくのかは課題。思春期になると体も大きくなる。親が抱え込まないようにしてほしい。</p>	<p>開催予定日 12月11日(月) 15:00～ にじいろキッズらいふにて</p>
<p>運営部会</p>	<p>【開催日：11月14日(火) ハーモニー桃の郷にて】 *部会報告…ふくしネット情報をもとに報告。 ・ふくしネットフェスタ：周知方法が課題/物販については電源の関係で不備があった/4階にも人が大勢来ていた印象だった/ステージが狭い ・通所施設ガイドブック：表紙はフェスタの中で決定。掲載内容・様式については例年通り。今後の予定としては事業所に呼びかけ12月中旬までに原稿を提出。2月に印刷し3月の全体協議会に間に合うように完成させていく予定。 *障害福祉計画/障害児福祉計画について…素案に300ほどの意見があった。検討し10/20の社会福祉審議会に提出。さらに意見が上がり、それを加味しながら素案が完成⇒今後市でも検討し12/15の社会福祉審議会に挙げていく予定。 *施策フォーラムについて…今後の在り方について意見交換をする。 前回は課題を共有しようという目的だったが、課題をどう解決しようかということ話し合うのがフォーラムではないか/施策フォーラムの在り方は運営部会だけでは決められない/法人のトップが参加していない中での話は意味がない/施策を提案し実現していくスタイルは残したほうがいいのではないか/市と一緒に課題を考えてくれる場としてもっとフリーに話せるといい/施策フォーラムの形を検討できるというがたたき台は必要⇒ケアマネ連絡会で案をいくつか検討/部会に市の担当者が出ているが障害福祉課内で共有できているのか。課題を絞り込む段階でもっと市からも意見があったほうがいいのでは/ふくしネット自体の在り方も見直したほうがいいのでは…といった意見が出る。 *相談支援体制について…児童相談が35%増⇒専門相談員1名の増員と緊急時受入(空床保証)で予算要求。委託相談を基幹相談支援センターとしてやっていきたい。 (質問・意見) ・24時間・365日の相談体制はどう組むのか?→どんな形でやっていくかは市で検討中。 ・事前に事業所や法人にトップにも参加してもらい、何を根拠にこの形にしたのかという説明はしてほしい。今年2月に地域生活支援拠点の説明をして以降の進捗も示されてこなかった⇒施策フォーラム内で合わせて説明会ができるか検討。※呼びかけは市で行ってほしい。</p>	<p>開催予定日 1月9日(火) 13:30～ ハーモニー桃の郷にて</p>
<p>ふくしネット フェスタ ワーキンググループ (実行委員会)</p>	<p>【フェスタの反省会 開催日：11月9日(木) ハーモニー桃の郷にて】 *各係ごとで振り返りをおこなう。 【ステージ】直前に電源が足りないことが分かりバタついた/天気心配があり雨天時の対応をもう少し詰めておく必要がある/(出演者より)演者の控室がほしかった/ステージが狭かった 【ワークショップ】人が足りない状況もあったので予め人の動きを確認したほうがよかった/ワークショップ団体との準備がもう少し必要/ピンゴの回数についても対応にばらつきがあった/通所説明会よりも大勢の人が来た/寄席は大勢来てくれたが子どもが入らなかったのも大人も子どもも楽しめる工夫が必要/時間がもう少し長くてもよかった 【販売】出店事業所に実行委員会に参加してもらった必要がある。当日バタバタした/アンケートをとれば不手際や改善点に分かりやすかったか 【広報】もう少し知ってもらえるような工夫が必要/アルクマのほうが集客力がある/アキッさんがとても協力してもらえたので良かった 【全体】広場も4階もどちらも見たかったという意見もあった⇒スケジュールに工夫が必要/開会式にもっと人が集まる企画があったほうがよかった/今後はもっとSNSを活かしていければいい(フェイスブックに感想があった)/荷物の置き方(店舗前や通路をふさぐように置いてしまっていた)、駐車の問題(駐停車禁止のエリアに停めていた)について運営事務所より指摘があった *通所施設ガイドブックについて…販売できるものにしてほしいのでは/もう少し薄くしてもいいのでは/ホームページを開設して見られるようにできれば/地活だけ後ろにまとめて入れたい⇒まずは執行部中心に進めていく。※様式等は従来の形で各事業所に原稿依頼をしていく。</p>	<p>開催予定日 【通所ガイドブック作成】 12月15日(金) 14:00～ ハーモニー桃の郷にて ※参加対象：フェスタ実行委員会の執行部のみ</p>

Pick Up!

～平成29年度 第2回障害者虐待防止・権利擁護研修のご案内～

- *日 時 平成29年12月14日(木) 13:30～16:00(受付13:00～)
- *会 場 柳原公民館 (長野市小島804-5)
- *講 師 石川 結貴 氏(作家、ジャーナリスト)

参加無料
事前申し込み必要

～プロフィール～ (オフィシャルホームページより)

家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに取材。豊富な取材実績と現場感覚をもとに多数の話題作を発表している。最新刊の『スマホ廃人』(文春新書)では、スマホやネットがもたらす数々の社会現象を追い、利便性の背後にある新たな問題を提起。出版のみならず、専門家コメンテーターとしてのテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活動する。日本文藝家協会会員。



- *申込方法 長野市から開催通知を送付いたします。必要事項をご記入の上お申込みください。
- *申込締切日 12月8日(金)

*対象者 障害福祉サービス事業所従事者・管理者、相談窓口職員、障害に関わる支援者等

～概要～

障害者虐待防止法の施行(平成24年10月)から5年が経過しました。全国の自治体で寄せられる障害者に関する通報。相談の内、養護者(障害者を世話している家族や親族等)によるものは、福祉施設従事者や使用者(障害者を雇用する事業者)よりもはるかに多くなっています。「家庭」と言う名の密室で生じる虐待は潜在化しやすく、適切な支援が届かない場合も少なくありません。児童虐待やDV、貧困、社会的孤立等の問題を抱える家庭において、障害者がより一層苦境に陥る状況も散見されます。こうした状況に対し、どのようなアプローチをし、支援や家族再構成に繋げて行けばいいのでしょうか。具体的な事例を踏まえ、今後の課題や展望について考えてみましょう。

信州あいサポートフォーラム2017～しあわせ信州が日本を変える 信州あいサポート運動～のご案内

- *日 時 平成29年12月14日(木) 13:00～16:00(受付12:00～)
- *会 場 長野市若里市民文化ホール (長野市若里3-22-2)
- *主 催 長野県、長野県障がい者社会参加推進センター

参加無料
事前申し込み必要

【第1部(13:20～)】基調講演「We are シンセキ! We are あいサポーター!」

講 師 レモンさん(山本シュウ)

1964年4月24日大阪府門真市出身。O型よりのA型。ラジオDJ。

筋金入りのフリースタイルの生き方は、子供の頃から近所のオッチャン、オバちゃんのお節介で育てられたおかげ。もちろん、オヤジ、お袋には人とのつながりの大切さ、「生きてるだけで、笑ってるだけで幸せや!」っていうことを教わった。「NHK Eテレ パリバラ」「JFN全国38局ネット Love in Action」など各局の番組で活躍中。

【第2部(14:20～)】パネルディスカッション テーマ「共生社会の実現のために」～心のバリアフリー～

◆パネリスト

- 井出今日我 氏(身体障がい当事者) リンクスペース設立、上田市を中心に活躍中
- 山本悦夫 氏(精神障がい当事者) ポプラの会代表、ピアサポーターとして活躍中
- 鷲塚輝久 氏(医師/支援者) 東口メンタルクリニック院長、NPO法人カシオペア代表
- 中村美恵子 氏(相談員/支援者) せいしれん会長、障がい者の就労支援・生活支援等
- 小池靖秋 氏(企業担当者) 長野第一物流(株)で障がい者雇用を担当

◆コーディネーター レモンさん(山本シュウ)(基調講演講師・ラジオDJ)

障がい者が働く事業所による物品の販売(11:30～13:30) (ホワイエは飲食可) 会場内ホワイエに販売ブースを設けます。【品目】パン/クッキー/おやき/コーヒーなど なおホールでの飲食はできません。

信州あいサポートフォーラム2017
～しあわせ信州が日本を変える 信州あいサポート運動～

日時 平成29年12月14日(木) 13:00～16:00
会場 長野市若里市民文化ホール
長野市若里3丁目22-2 TEL:026-223-2223

内容 ①(13:00～) 基調講演「We are シンセキ! We are あいサポーター!」
講師「レモンさん(山本シュウ)」

②(14:20～) パネルディスカッション「共生社会の実現のために」～心のバリアフリー～
パネリスト: 井出今日我 氏、山本悦夫 氏、鷲塚輝久 氏、中村美恵子 氏、小池靖秋 氏
コーディネーター: レモンさん(山本シュウ)

主催: 長野県、長野県障がい者社会参加推進センター

長野市相談支援専門員等スキルアップ研修(就労支援コース②)のご案内

- *日 時 平成30年1月19日(金) 13:30～ (受付13:00～)
- *会 場 長野市柳原公民館 (長野市小島804-5)
- *講 師 丸山 哲 氏(社会福祉法人高水福祉会 常務理事)

*内 容 「就労アセスメントの理論と実践(仮)」
就労支援を利用する際の支援の視点と、就労アセスメントについての理解を深める。